

西南女学院大学短期大学部【成績の評価と卒業の基準】

●短期大学部（西南女学院大学短期大学部学則、西南女学院大学短期大学部「履修規程」より抜粋）

（成績評価）

- ・授業科目及び課程修了の認定は試験による。試験の成績は、秀、優、良、可又は不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とする。
- ・試験の成績は 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。成績の評価は、秀（90 点以上）、優（80 点以上 90 点未満）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、不可（60 点未満）とする。

（卒業の要件）

- ・本学卒業の資格を得るためには 2 か年以上在学し、所定の単位 62 単位以上を履修規程により修得しなければならない。

■卒業に要する最低修得所要単位

学 科 名			単位
一 般 教 育 科 目	キリスト教教育	キリスト教学Ⅰ 2単位及びキリスト教学Ⅱ 2単位を含む	16以上
	初年次教育	初年次セミナー 1単位を含む	
	女性と健康	運動と健康 1単位を含む 女性とマナー及び女性史及び共生社会とジェンダー及び女性と装いの文化より 1単位を含む	
	基礎教養科目		
	アカデミックスキル	英会話入門及びこどもとふれあう英会話Ⅰ 及びこどもとふれあう英会話Ⅱ 及びハングル入門より 2単位を含む	
	地域創生		
	キャリア形成支援		
専 門 教 育 科 目			42以上
合 計			62以上

■開講科目の履修登録者が5人以下の場合の対応について

選択科目で資格等に関わらない科目においては、履修登録者が5人以下の場合は開講しないことがありますので、注意してください。

■単 位

本学ではすべて単位制をとっています。これは学生が自分の学習方針にしたがって授業科目を選択・履修登録し、授業を受け、試験に合格することで卒業に必要な単位を修得していくものです。

《単位の計算基準》

講 義 科 目	講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
演 習 科 目	
実 験 科 目	実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
実 習 科 目	
実 技 科 目	

■授業時間

授業は、原則として講義・演習科目は2時間（90分）、実験・実習科目は3時間（135分）で実施されます。

《授業時間》	1 時限目	9 : 00 ～ 10 : 30
	2 時限目	10 : 40 ～ 12 : 10
	3 時限目	13 : 00 ～ 14 : 30
	4 時限目	14 : 40 ～ 16 : 10
	5 時限目	16 : 20 ～ 17 : 50

※ 2021年度の「授業時間」については別途指示があります。

■成績評価について

成績評価は、授業担当教員がシラバスに明記した評価の方法・基準に基づき評価を行います。

シラバスとは、授業科目の内容等を詳細に記述したもので、その授業で何をどのように学び、何ができるようになるかを知ることができます。

1. 評価方法について

●試験

前期又は後期の各期末に期間を定めて実施する筆記試験です。一定の制限時間内に、記述（択一式・選択式・計算・論述・作図など）の内容をもって、授業や自学自習で学習した知識を確認します。

●小テスト

授業期間中に小範囲、短時間に実施する小配点形の試験です。上記の「試験」に準じるもの、口頭試問などをもって、既習の知識・授業の内容などを確認します。

●レポート

調査や実験に基づく事実や考察、テーマに基づく自分の意見を論理的に文章で表現するものです。また、授業聴講レポート、ポートフォリオなどを提出することもあります。成果を確認するだけでなく、レポート作成のプロセスも評価の対象となることもあります。

●発表（口頭、プレゼンテーション）

口頭発表、プレゼンテーション、演技、実技試験、パフォーマンスなどで、成果を確認します。

●レポート外の提出物

記述や口述以外の表現手段で成果を確認します。

●その他

授業への積極的な参加を評価するものです。授業中の質問や教員の問いに対する回答、予習・復習、オフィスアワーでの質問、など、学生の能動的な行動で確認します。授業中に不必要な発言・行動を行わないことも重要です。

II. 成績評価と評価基準について

成 績 評 価	評 価 基 準
秀（90点以上）	具体的な達成の目安の「理想的レベル」に達し、きわめて優秀な成果をおさめている。
優（90点未満、80点以上）	具体的な達成の目安の「理想的レベル」に達している。
良（80点未満、70点以上）	具体的な達成の目安の「標準的なレベル」に達している。
可（70点未満、60点以上）	具体的な達成の目安の「標準的なレベル」に最低限度達している。
不可（60点未満）	具体的な達成の目安の「標準的なレベル」に達していない。

※具体的な達成の目安は、シラバスに記載されています。

■GPA（Grade Point Average）制度について

本学では、G P A（Grade Point Average）という学習成果の評価基準を設定します。

学則第13条に規定されている「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」による5段階の成績評価に加えて、G P Aを取り入れることにより以下のような効果が期待できます。

- 学習の成果を総合的に評価することが可能となります。

学生は学習の到達度を数値で具体的に知ることができるため、自己の学習の成果を評価する際の一層明確な基準となります。

- 学生自身の「学習意欲の高揚」や「自己責任」、「自己管理」能力を養うことにつながります。

学生は自己の到達目標を具体的数値で定めることができ、その数値を超えるための努力がしやすくなります。また、安易な履修登録による授業科目の途中放棄を防ぐことができます。

- 大学からのきめ細かな学修支援を可能にします。

大学はG P Aを厳格な成績評価基準として用いることで、学生一人ひとりの学習の状態に応じて、きめ細かな学修支援を行います。

G P Aの算出方法

100点満点で評価したときの得点を（P）として、下の計算式によりG Pを求め、少数第一位まで表示します。合格最低点である60点の場合はG P＝1.0、100点満点の場合はG P＝5.0、60点未満は不合格であるためG P＝0です。このようにして、履修した科目のそれぞれに対してG Pが計算されます。

成績（P：素点）	成績評価	GP
100～90	秀	5.0～4.0
89～80	優	3.9～3.0
79～70	良	2.9～2.0
69～60	可	1.9～1.0
60未満または放棄	不可	0

$$GP = \frac{(P - 50)}{10}$$

上記にて与えられたG Pを次の計算式で計算したものがG P Aとなります。

$$GPA = \frac{\text{履修登録科目のそれぞれの【GP} \times \text{単位】の総和}}{\text{履修登録単位数の総和}}$$

（少数第二位以下四捨五入）

【例】

	単位数	素点	GP
キリスト教学 I	2	89	3.9
心理学	2	93	4.3
生活の中の環境学	2	82	3.2
メディアリテラシー	2	75	2.5
スポーツ実技	1	71	2.1
経済学入門	2	66	1.6

$$GPA = \frac{3.9 \times 2 + 4.3 \times 2 + 3.2 \times 2 + 2.5 \times 2 + 2.1 \times 1 + 1.6 \times 2}{2 + 2 + 2 + 2 + 1 + 2} = 3.01$$

（参考：素点の平均点 79.3）

- G P A の計算にあたっては「履修登録した単位数の総和」で除することに注意してください。学期のはじめに十分な学習計画のもとにどの科目を履修するかを決め、安易な履修登録をしないようにしてください。
- G P A の計算の対象となる科目は、学則別表に定める科目とします。
- 学則第14条に規定する他の短期大学等において履修した科目及び学則第15条に規定する外国の短期大学等において修得した科目並びに学則第17条に規定する入学前の既修得単位等の認定により修得したものとみなされた科目については、G P A の計算から除外されます。
- 病気、事故等のやむを得ない事情により、学期途中で科目の履修が不可能になった場合は、所定の手続きにより大学の許可を得た場合に限り、当該科目は履修取消となり、G P A の計算から除外されます。
※上記以外の理由(自己都合)により授業を途中で放棄した科目については、G P A の計算の対象 (G P = 0) となります。
- 1 学期の G P A が 2.0 未満となった学生に対しては、大学から指導を行います。
- G P A が優秀な学生に対しては、成績優秀者として表彰する場合があります。

G P A の提示方法

G P A は、次のような方法で学生に開示します。

①通算 G P A

入学時から現在の学期までに成績評価を受けた授業科目分の G P A は、UNIVERSAL PASSPORT 内の個人成績表で開示します。

②学年別の通算 G P A

UNIVERSAL PASSPORT 内の提示で、学年別の通算 G P A を、度数分布で開示します。